

科目名		建築計画演習			
担当教員	野口 信彦		実務授業の有無	○	
対象学科	建築士学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築物設計の建築計画、考え方、計画の進め方を座学や事例を通して学ぶ。 1. 建築計画に必要な、単位、寸法、生活にもとづいた設計の考え方の重要性を学ぶ。 2. 条件と規制に則した建築計画の進め方の基本を理解する。 3. 講義→小テスト→解答→解説を繰り返すことで重要性を理解する。 4. 建築士試験の重要項目のため、1年次からの総復習を絡め対策授業を行う				
学習目標 (到達目標)	建築計画において、2級建築士学科試験合格に近づくために、主に計画各論の復習を行います。 また、建築士2級の技術試験範囲にあたる内容のため、合格点に達する習熟度を目標とする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①配布資料・ ②やさしい環境工学				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	独立住宅 ①独立住宅に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
2	集合住宅 ①集合住宅に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
3	商業建築（事務所・店舗） ①商業建築に関連する建築士試験の過去問題と復習		商業建築に関連する建築士試験の過去問題を解きながら復習を行う。		
4	商業建築（融合） ①商業建築に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
5	公共建築—1 ①公共建築に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
6	公共建築（融合・その他）—2 ①公共建築に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
7	計画一般 ①計画一般に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
8	その他・各論融合 ①その他・各論融合に関連する建築士試験の過去問題と復習		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①を理解する 準備学習：教科書①の予習		
9	確認テスト		各分野の確認テストを実施し、知識の定着を確認する。		
10	総復習 ①住宅、集合住宅、地域計画 ②保育所、幼稚園、小・中学校 ③高齢者、医療、図書館等 ④事務所、劇場 ⑤店舗、駐車場 ⑥建築計画 ⑦各部寸法、バリアフリー		方法：建築士試験過去問題を使って説明、解説の座学 達成目標：項目①～⑦を理解する 準備学習：教科書①の予習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
期末試験・小テスト・平常点の合計とする。期末試験50%、確認問題40%、平常点10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			2級建築士合格へ向け、1年次に学習した内容の復習と応用を実施します。 定期的に小テストを行い習得状況の確認する。また、繰り返し行うことで重要なポイントをしっかりと理解させる。習熟度を上げるために、正解率の低い回答については、十分な解説を行う。		
実務経験教員の経歴	設計事務所にて設計業務に11年従事				